

## 平成 29 年度 第 3 回北海道東部の竪穴住居跡群調査懇談会 議事概要

### 1 日時及び場所

日時：平成 30 年 2 月 28 日（水） 9 時 30 分から 11 時 30 分

場所：道庁別館西棟 3 階 会議室 1

### 2 出席者

<構成員：3 名>

熊木俊朗 東京大学大学院人文社会系研究科准教授（座長に選出）

天野哲也 北海道大学総合博物館研究員

澤井 玄 北海学園大学非常勤講師

<公益財団法人北海道埋蔵文化財センター：1 名>

坂本尚史 普及活用課主査

<北海道教育委員会：4 名>

小松文化財・博物館課長

西脇文化財調査グループ主幹 ほか

<傍聴者：1 名>

### 3 意見交換・情報提供

<竪穴群データベースについて>

事務局が、竪穴群データベースの改定内容とオホーツク管内の結果概要を説明した。

<湧別町シブノツナイ竪穴住居群調査の成果について>

公益財団法人北海道埋蔵文化財センターが、平成 27～29 年度に実施した湧別町シブノツナイ竪穴住居群調査の成果と課題について説明した。

<北海道東部の竪穴住居跡群調査第 2 次調査計画について>

事務局が、平成 30 年度から実施を予定する北海道東部の竪穴住居跡群調査第 2 次調査計画案について説明した。

<（仮）北海道・ロシア地域間文化遺産交流事業について>

事務局が、現在計画中の（仮）北海道・ロシア地域間文化遺産交流事業について説明した。

<構成員の主な発言>

竪穴群データベースについて

「地表から竪穴の窪みが確認できる遺跡だけでなく、発掘調査によって初めて竪穴が発見された遺跡も対象にすべきではないか」

シブノツナイ竪穴住居跡群調査について

「今後は、恒常的に人が住んでいたのか等、遺跡の性格を検討していく必要がある」

第 2 次調査計画について

「道指定史跡を含めて、竪穴群の全体像をしっかりと把握するための調査を期待する」